

# 新製品 新技術紹介

## 災害救助用ジャッキ “STOLレスキュージャッキ”

竹内 祐介

竹内工業株式会社 代表取締役社長

〒454-0049

名古屋市中川区清川町1丁目1番地

TEL:052-361-1111 / FAX052-353-2036

<http://sto-takeuchi.co.jp/>



- 2)ねじ式ジャッキであるため、メンテナンスフリーで保管可能。
- 3)ジャッキ自体に傾斜がついていることで持ち上げる対象物にジャッキが追随する構造。
- 4)ジャッキ重量が約5kgと軽量でサイズもコンパクト。
- 5)最大42.5cmまでジャッキが上昇し、ストロークが長い。

### <はじめに>

平成30年度名古屋市工業技術グランプリにおきまして、竹内工業株式会社「災害救助用ジャッキ“STOLレスキュージャッキ”」が名古屋産業振興公社理事長賞を受賞いたしました。

当社は、昭和4年に自動車用ねじ式三重伸長ジャッキを考案し生産を開始しました。これまで培ってきた技術を活かした製品がこのような栄誉ある賞を拝領いたしましたことを、大変嬉しく思います。

今後も皆様のお役に立てるような製品開発ができるよう、より一層当社の技術力を磨いていく所存でございます。

### <会社概要>

当社は昭和4年に自動車用ねじ式三重伸長ジャッキの生産を開始。現在は、パンタグラフジャッキ・スクリージャッキの2種類のジャッキを製造しております。

その他にも、ステアリング部品加工やインフラ整備用製品製造等を主要事業としているメーカーです。



### <開発背景>

災害時の三種の神器「バール・のこぎり・“ジャッキ”」。阪神淡路大震災においても、多くの方がジャッキを使って救助されたと知りました。ジャッキメーカーとして、災害時に1人でも多くの人を助けることができるジャッキを開発したいと思い、災害救助用に特化させたジャッキの開発を進めていくことになりました。

### <製品概要>

2.5cmの隙間があれば、爪を入れて込んでものを持ち上げることができるねじ式ジャッキ。爪先で500kg、爪頭部で2tのものを持ち上げることができる。

### <特徴>

- 1)2.5cmの隙間からものを持ち上げることができる。

### <製品への思い>

南海トラフ地震では津波や火災の発生が予想されます。そういった状況では救助隊の助けが全ての人にいきわたることは難しいといわれています。

そういった状況では自分たちで助け合う『共助』の力が大切です。当社が開発した“STOLレスキュージャッキ”は誰でも使うことができるような分かりやすさも特徴の一つです。当社のジャッキが一人でも多くの人々の命を助ける手助けとなればと思います。

